

2022/11/29 (火)

朝の礼拝

聖書 イザヤ書 8章22-9章1節 (旧約聖書1073頁)

地を見渡せば、見よ、苦難と闇、暗黒と苦悩、暗闇と追放。今、苦悩の中にある人々には逃れるすべがない。

先に

ゼブルンの地、ナフタリの地は辱めを受けたが

後には、海沿いの道、ヨルダン川のかなた

異邦人のガリラヤは、栄光を受ける。

闇の中を歩む民は、大いなる光を見

死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。

闇の中を歩む民

時代を遡るほど歴史の記憶、記録に残る人たちの生誕日は不詳なことが多いです。救い主として生まれたイエスもまた飼い葉桶に寝かされ人知れずに生まれ、その誕生の日は正確にはわかりません。だからイエスが12月25日に生まれたと伝えられたのにはわけがあります。

イエスが十字架の死を遂げて、弟子たちの中からイエスは復活してわたしたちと共におられる、イエスはキリスト（救い主）であるという福音が当時の世界に伝えられたのはわずか30年の出来事です。しかしその後300年近くの間、迫害と異端が断続的に続きました。

殉教する仲間、教えを棄てる仲間、残されたキリスト者は迫害を避けるため洞窟など闇に集まり、ローソクのともし火を見つめ殉教した者の魂の平安を祈りました。やがて平和が訪れた時、彼らは一年で最も夜の長い冬至の日12月25日をイエス誕生の日にしたのです。

いまウクライナで闇夜に凍えながら避難している人たちは時空を超えて同じ体験をしています。最初読んでいただいた聖書の言葉も胸を裂くような悲しみと戦禍に震える人たちの祈りです。いま悲しみ、不安、恐れの中にあるすべての人たちを覚え救いの光を祈りましょう。

(しばらく黙想しましょう)

もっとも深い闇に來られた主よ、生きることの困難と困惑に打ちひしがれ、希望を失おうとしている人びとのために祈ります。どうか慈しみのみ手を延べて彼らを支えてください。彼らを恵み、その悩みの中から主を仰ぎ見る力を与え、まことの希望を見いだして、主にある喜びにあずかることができるようにしてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン